

■ 培養上清に含まれるサイトカインの種類と主な効果

サイトカインの種類		主な効果
血管内皮細胞増殖因子：VEGF		発毛、育毛
上皮成長因子：EGF 及びそのFamily		シミ、くすみ、表皮ターンオーバーの改善、シワ予防
ケラチノサイト成長因子：KGF		発毛、育毛
インシュリン様成長因子：IGF		皮膚再生、シワの改善、ハリ等の弾力の再生、育毛
血小板由来成長因子：PDGF		細胞分裂の促進、損傷組織の増殖・再生
トランスフォーミング成長因子： TGF-β、TGF-α 及びそのFamily		抗炎症、創傷治癒
肝細胞増殖因子：HGF		組織再生
神経系 栄養因子	CNTF (毛様体神経栄養因子)	神経幹細胞の増殖促進・活性
	GDNF (グリア細胞株由来 神経栄養因子)	神経細胞の分化・成長、ドーパミン取り込み促進
	NGF (神経成長因子)	神経伝達物質の合成・促進、神経細胞の維持、細胞 損傷時の修復、脳神経の機能回復を促し老化を防止、 アルツハイマー病・痴呆症の予防
	BDNF (脳由来神経栄養因子)	神経細胞の生存維持・成長促進、アルツハイマー 病・痴呆症の予防
	他	

※**サイトカイン**とは……細胞は培養中に、細胞自身が活性化や成長、増殖するために、「サイトカイン」とよばれる様々な種類のタンパク質を培養液中に放出します。「サイトカイン」は、体内の損傷を受けた組織や細胞の機能回復などにおいて重要な役割を果たしていて、老化などにより、衰えた細胞を回復する効果が期待できます。